

平成20年度 新聞記事等一覧 (9月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1	9月1日	毎日新聞 (東京多摩版)	25面 愛称募集 東京農工大でアメリカンミニホース子馬誕生 親しみやすい名前考えて	東京農工大学で世界最小の馬として知られるアメリカンミニホースの雌が生まれ、父アップルサイダーと母シナモンの2頭は地元で人気があり、子馬も地域の人にかわいがってもらいたいとの思いから、愛称を公募することになった。	
2	9月1日	日刊工業新聞	25面 未来思考 経営戦略⑱ 防災拠点は第二政府・第二本社	地震が頻発する日本で、高度化を続ける首都が停止することは経済面で避けたいので、首都機能を分散させることで対応すべきと解説したコラム。	技術経営研究科 林 志行 教授
3	9月1日	広報ふちゅう	3面 官公庁から 東京農工大学公開講座「リフレッシュ気功・呼吸法」	公開講座「リフレッシュ気功・呼吸法」の案内。	工学府 田中 幸夫 准教授
4	9月1日	広報ふちゅう	3面 官公庁から 東京農工大学健康スポーツ講座「テニス～応用編」	公開講座「テニス・応用編：ナイターゲームを楽しもう」の案内。	工学府 田中 幸夫 准教授
5	9月1日	広報ふちゅう	3面 官公庁から 東京農工大学公開講座「実習で学ぶ農業教室」	公開講座「実習で学ぶ農業教室18 ママな暮らしを楽しもう」の案内。	FSセンター 島田 順 教授
6	9月1日	広報ふちゅう	3面 官公庁から 東京農工大学子ども科学教室	子ども科学教室「綿菓子製造機と電気パン焼き器をつくってみよう」の案内。	工学府 平山 修 准教授
7	9月1日	広報ふちゅう	3面 官公庁から 東京農工大学開催講座「君も一日エンジニア！」	「君も一日エンジニア！リモコンカー作り」のリモコンカー作りの案内。	学生活動支援センター
8	9月2日	日経産業新聞 (日経テレコン21)	10面 東京農工大 細胞動かし電極と接続 神経情報 電気的な伝達目指す 義手・義足、自在に	東京農工大学森島准教授・星野特任助教の研究グループは、細胞の自律的な運動を利用して、微小な電極に細胞を誘導する実験に成功した。義手や義足を神経と電気的につなぎ、思い通りに動かすための基礎技術として実用化を目指す。	生物システム応用科学府 生物システム応用科学府 森島 圭祐 准教授 星野 隆行 特任助教
9	9月3日	日刊工業新聞	22面 東京農工大 進学が就職か迷う学生に配慮 博士育成、選考を複数回に	東京農工大学は、2007年度に始めた修士2年からの特殊な博士養成プログラム「科学立国人材育成プログラム」を一部見直し、博士課程への進学が就職かを選択しやすくなるよう、選考を複数回実施し、選択肢を広く設定することにした。	工学府 直井 勝彦 教授
10	9月4日	毎日新聞	27面 農地漂流 開発業者が所有権移転仮登記 税金肩代わり横行 「法律形骸化」危惧の声	農地を所有できない開発業者らが、農家に売買代金を払って所有権移転を仮登記している問題で、本来農家に課される税金を開発業者が肩代わりする行為が横行していることがわかった。東京農工大学梶井名誉教授は、転用の可否が不明な時点での農地の売買自体が問題で、これが認められると農地法が形骸化しかねないと解説。	梶井 功名 名誉教授
11	9月4日	日本テレビ	ズームイン！！SUPER	「バード！！ウォッチング」のコーナーで、若者の間で人気のあるお菓子「ブラックサンダー」が、生協の白石さんの本に掲載され有名になったと紹介。	
12	9月5日	朝日新聞	35面 埋設農業 未処理2000トンの補助切られ10道県難航 国は「税源移譲した」	70年代に国の指導で地下に埋められた有害農業の最終処理が、国と地方の意見の食い違いにより頓挫している問題に対し、東京農工大学細見教授が国と地方の双方に責任はあり、未処理の場所についての説明並びに処理後の安全性を示していく必要があると解説。	工学府 細見 正明 教授

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
13	9月8日	日刊工業新聞	31面 未来思考 経営戦略⑩ 日本的 “のりしろ” の復活を	かつてバス停に設置されていた古ぼけた椅子や樹木の木陰を、バス停における「のりしろ」と捉え、それこそが日本の優位であり、総点検が必要であると解説したコラム。	技術経営研究科 林 志行 教授
14	9月9日	産経新聞	1面 はてなは、はてなし 海外が認める日本の独創	ノーベル賞受賞に値する日本人は数多くいるが、その中から世界で3000万人以上が使用し、世界一の3兆円を超える売り上げがある「スタチン」の発見・開発を行った東京農工大学遠藤章名誉教授を取り上げたコラム。	遠藤 章 名誉教授
15	9月10日	日本経済新聞 (東京・首都圏経済版)	35面 インフォメーション 参加 美しい多摩川シンポジウム	シンポジウム「地域の明日と東京の未来」に東京農工大学小倉名誉教授がパネル討議に出席することの紹介。	小倉 紀雄 名誉教授
16	9月11日	読売新聞 (地域多摩版)	35面 家畜病院が新装 MRIや放射線治療も 農工大 隣接地に新設	国立大学の財源確保のモデルケースとして、民間金融機関からの借入れ金の返済に診療収入を充てる、東京農工大学の動物医療センターを紹介。	農学府 農学府 岩崎 利郎 センター長 山根 義久 教授
17	9月11日	朝日新聞	34面 大学ランキング 東大アジア1位でも世界19位	中国の上海交通大学高等教育研究所がノーベル賞などの受賞者数や科学誌への発表論文数などを得点化した「08年世界の大学ランキング」を発表し、東京農工大学が402位～503位にランクイン。	
18	9月11日	産経新聞	26面 あした人 自然案内人 高野徹さん 子供に必要な「五感で体験」	(財)埼玉県生態系保護協会統括主任研究員として運営の中心的役割を担う東京農工大学農学部卒業生の高野氏を紹介。高野氏「情報が氾濫する中、子供たちには五感を使った自然体験をしてほしい」と話す。	農学部卒 高野 徹 氏 (卒業生)
19	9月11日	日刊工業新聞	13面 ちょっと訪問 ノベルテック 薬効試験を大幅短縮	マウスが皮膚をかく回数をも自動測定出来るシステム「スクラバリアル」を開発した東京農工大学発のベンチャー企業、㈱ノベルテックを紹介。このシステムを使用することで、薬効試験に要する時間を大幅に短縮できる。	農学府 松田 浩珍 教授
20	9月12日	日刊工業新聞	30面 2008 産学官技術交流フェア	2008産学官技術交流フェア出展一覧に東京農工大学が掲載。	
21	9月12日	日刊工業新聞	33面 東京農工大発VBが新触媒 薄い箔状で白金6割減 表面積大きく高効率	東京農工大学発のベンチャー企業、㈱アルマイト触媒研究所が大手電子部品メーカーと共同で、薄い箔状で高効率の触媒を開発。高価な白金の使用量を6割減らすことができる。	技術経営研究科 亀山 秀雄 教授
22	9月12日	科学新聞	2面 脱温暖化、子どもの安全など 社会的問題解決へ 新規23課題JST採択	JST社会技術研究開発センターは、社会の具体的な問題解決を通して社会的・公共的価値を目指す『社会技術研究開発事業』の今年度新規の研究開発プロジェクトを17件決定。その一つとして、東京農工大学亀山教授が代表の「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」を紹介。	技術経営研究科 亀山 秀雄 教授
23	9月12日	科学新聞	6面 平成20年度「第2期募集」新規178課題 決定 JST戦略的創造研究推進事業	科学技術振興機構は、戦略的創造研究推進事業(CREST、さきがけ)の第2期募集研究領域の今年度新規課題を決定。研究領域「界面の構造と制御」において、東京農工大学生嶋准教授の「テラヘルツ波の単一光子検出と近接場センシング」が採択された。	工学府 生嶋 健司 准教授
24	9月13日	毎日新聞(夕刊)	9面 憂楽帳 交通事故ゼロ	日本学術会議がまとめた「交通事故ゼロの社会を目指して」提言に対し、分科会副会長を務める東京農工大学永井教授のコメントを掲載。	工学府 永井 正夫 教授

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
25	9月14日	読売新聞	15面 高脂血症薬のスタチン 日本発「ノーベル賞級」の声価 青カビから発見 世界で3000万人服用	東京農工大学遠藤名誉教授が開発した、高コレステロール血症治療薬スタチンは毎日3000万人を超す患者が使う薬であり、ノーベル賞級の成果であると注目されている。	遠藤 章 特別栄誉教授
26	9月14日	NHK総合	NHKニュース 遠藤章氏 米の医学賞を受賞へ	アメリカで最も権威ある医学賞とされる「ラスカー賞」に、血液中のコレステロールを下げる「スタチン」を発見した東京農工大学遠藤名誉教授が選ばれた。	遠藤 章 特別栄誉教授
27	9月14日	フジテレビ	FNNニュース アメリカの医学賞「ラスカー賞」にバイオファーム研究所の遠藤章所長ら5人が選ばれる	アメリカの医学賞「ラスカー賞」に、(株)バイオファーム研究所の遠藤所長が選ばれた。	遠藤 章 特別栄誉教授
28	9月14日	47NEWS (共同通信)	ラスカー賞に遠藤章氏 高脂血症薬スタチン発見	米国で最も権威ある医学賞「ラスカー賞」に、血中のコレステロール値を下げる薬「スタチン」を発見した、(株)バイオファーム研究所の遠藤所長が選ばれた。	遠藤 章 特別栄誉教授
29	9月15日	朝日新聞	1面 (見出し) 医学 ラスカー賞に遠藤名誉教授	ノーベル賞にも近い米医学賞「ラスカー賞」を東京農工大学遠藤名誉教授が受賞したと見出しに掲載。	遠藤 章 特別栄誉教授
30	9月15日	朝日新聞	2面 高脂血症薬「スタチン」発見 遠藤章氏に米ラスカー賞	血液中のコレステロールを下げる特効薬のもとになる物質「スタチン」を発見した東京農工大学遠藤名誉教授が、「ラスカー賞」の臨床医学部門の受賞者に選ばれた。	遠藤 章 特別栄誉教授
31	9月15日	読売新聞	2面 顔 米医学界最高のラスカー賞を受賞する	年間売上高約3兆円のコレステロール低下剤「スタチン」の原型を発見した東京農工大学遠藤名誉教授を紹介。	遠藤 章 特別栄誉教授
32	9月15日	読売新聞	34面 遠藤章氏にラスカー賞 「スタチン」発見	米ラスカー財団はコレステロール値を下げる物質「スタチン」を発見した遠藤特別栄誉教授にラスカー賞臨床医学賞を贈ると発表した。	遠藤 章 特別栄誉教授
33	9月15日	東京新聞	3面 この人 ラスカー賞を受賞した東京農工大特別栄誉教授 遠藤 章さん	「スタチン」は、コレステロールを減らす心筋梗塞、脳卒中の予防薬として世界中で一番売れている薬であり、東京農工大学遠藤名誉教授はスタチンを発見・開発した業績で米国のラスカー賞を受賞。また、東京農工大学から特別栄誉教授の称号が授与された。	遠藤 章 特別栄誉教授
34	9月15日	東京新聞	24面 ノーベル賞の登竜門 米ラスカー賞 遠藤名誉教授が受賞 コレステロール下げる成分「スタチン」を発見	米ラスカー財団は米国のノーベル医学生理学賞といわれるラスカー賞の臨床医学研究賞に東京農工大学遠藤名誉教授を選んだと発表。また東京農工大学小畑学長のコメントが掲載。	学長 小畑 秀文学長 遠藤 章 特別栄誉教授
35	9月15日	毎日新聞	2面 遠藤氏ら5人に米ラスカー賞 心臓病治療に貢献	米アルバート・アンド・メアリー・ラスカー財団が発表した「ラスカー賞」の受賞者に、東京農工大学遠藤特別栄誉教授が選ばれた。	遠藤 章 特別栄誉教授
36	9月15日	産経新聞	29面 ノーベル賞の登竜門 ラスカー賞に遠藤章氏 東京農工大名誉教授	動脈硬化の主要原因として知られるコレステロールの血中濃度を下げる薬を発見した東京農工大学遠藤名誉教授に米国最高の医学賞「ラスカー賞」が贈られることが決定。また東京農工大学は、東京農工大学遠藤名誉教授に特別栄誉教授の称号を授与した。	遠藤 章 特別栄誉教授
37	9月15日	日本経済新聞	30面 ラスカー賞に遠藤氏 スタチン発見 米財団が評価 「心血管治療に革命」	米アルバート・アンド・メアリー・ラスカー財団がラスカー医学賞をバイオファーム研究所所長遠藤章氏に授与すると発表。	遠藤 章 特別栄誉教授

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
38	9月15日	日刊工業新聞	19面 未来思考 経営戦略21 高齢社会リテラシーが導く「敬老」	高齢に対する考え方には個人差があり、相手の考えや言動の背景を考慮する力を獲得する「高齢社会リテラシー」が必要である。アクティブ・シニアが活動しやすい制度を整備・提供することも「敬老」である、としたコラム。	技術経営研究科 林 志行 教授
39	9月16日	さががけ on The Web	由利本荘出身の遠藤氏にラスカー賞「スタチン」発見の功績	米国で最も権威ある医学賞とされる「ラスカー賞」の受賞者に、東京農工大学遠藤名誉教授が選ばれた。また、東京農工大学は特別栄誉教授の称号を授与した。	遠藤 章 特別栄誉教授
40	9月17日	日刊工業新聞	31面 米ラスカー賞 遠藤氏が受賞 低コレステ薬開発で	心筋梗塞などの原因となる血中の悪玉コレステロール値を下げる物質「コンパクテン」を青カビから発見し、画期的な薬「スタチン」の開発につなげたバイオファーム研究所所長で東京農工大学遠藤名誉教授にラスカー賞が授与されることが決まった。また東京農工大学小畑学長のコメントが掲載。	学長 小畑 秀文学長 遠藤 章 特別栄誉教授
41	9月18日	週刊新潮	p136 ノーベル賞接近 「遠藤博士」の意外な「発明品」	東京農工大学遠藤名誉教授に米国最高の医学賞「ラスカー賞」が贈られると発表された。また東京農工大学遠藤特別栄誉教授のコメントが掲載。	遠藤 章 特別栄誉教授
42	9月19日	読売新聞	15面 大学ミニ情報	東京農工大学の家畜病院が動物医療センターに生まれ変わり、開院記念式典を開いた。	
43	9月19日	日刊工業新聞	29面 2008産学官技術交流フェア 出展企業・紙上プレビュー	東京農工大学のブースでは東京農工大学発のベンチャー企業、ページサイエンス(株)が技術を紹介する。ページサイエンス(株)は東京農工大学の養王田教授の研究室と二つのベンチャーと連携している。	工学府 養王田 正文 教授
44	9月21日	読売新聞	15面 立休考差 「ノーベル賞を君に」消えぬ友情	2002年のノーベル賞物理学賞を受賞した小柴昌俊さんのまな弟子、物理学者の故・戸塚洋二さんを紹介したコラムに東京農工大学遠藤特別栄誉教授の紹介が掲載。	遠藤 章 特別栄誉教授
45	9月21日	広報ふちゅう	4面 官公庁から 東京農工大学特別講演会「循環型社会を目指して～暮らしにプライドをとりもどす～」	特別講演会案内 枝元なほみ氏「循環型社会を目指して～暮らしにプライドをとりもどす～」の案内。	
46	9月22日	日本経済新聞	12面 東京農工大 虫の筋肉で動くロボ 電源不要、小型化容易に	東京農工大学森島准教授らは、虫の筋肉を使って電源なしで動く微小なロボットを作ること成功。将来は生物のように柔軟な動きをするロボットの開発につなげていく考え。	生物システム応用 科学府 森島 圭祐 准教授
47	9月22日	日刊工業新聞	27面 未来思考 経営戦略22 総裁選で「売上げ」伸ばす？	半年ごとにモデルチェンジする商品と、デザインが変わらず壊れにくい商品を例に、総裁選ではボーナス商戦(総選挙)の売り上げを、自民党・民主党のどちらが売り上げを伸ばすかと問うコラム。	技術経営研究科 林 志行 教授
48	9月24日	朝日新聞(多摩版)	37面 2世はアップルパイ 農工大・子馬の名決定	東京農工大学で初めて生まれたミニホースのメスの子馬の名前が学内外から寄せられた132通の案から「アップルパイ」に決まった。子馬の父は遺伝学的世界的権威で東京農工大学馬術部主将だった故・大野博士の愛馬「アップルサイダー」。母は「シナモン」。名前を寄せた東京農工大学卒業生、笠木氏のコメントが掲載。	農学部 大野 乾 名誉博士 (卒業生) 笠木 郎 氏 (卒業生)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
49	9月24日	読売新聞 (地域多摩版)	35面 ミニホースの赤ちゃん 愛称「アップルパイ」に	東京農工大学で誕生したアメリカン・ミニ チュア・ホースの雌の赤ちゃんの愛称が 「アップルパイ」に決まった。「アップルパイ」 は募集した愛称、約130のアイデアから最 多の22票を集め決定した。	
50	9月24日	東京新聞(多摩・地 域の情報)	22面 すくすく育てアップルパイ 東京農工大 子馬の愛称決まる	東京農工大学ではアメリカンミニホースの 子馬の愛称が「アップルパイ」に決まったと 発表した。愛称は学内外で公募し3~76歳 までの幅広い年齢層から132通の応募があ り、「アップルパイ」は最多の22人から寄せ られた。	
51	9月25日	朝日新聞	31面 「2008産学官技術交流フェア」 東京農工大学 農工大発ベンチャー PaGE Science(株)	「2008産学官技術交流フェア」に出展する 東京農工大学のベンチャー企業、PaGE Science(株)の紹介。	工学府 養王田 正文 教授

未掲載内容

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1	8月11日	信濃毎日新聞	8面 生活かか 研究者「世界の漂流ベレット送って」 海の汚染調査協力を 化学物質吸着する性質利用 農薬の残留状況明らかに	世界の海に大量に漂い、各国の海岸に打 ち上げられている直径2~3mmのプラスチ ック「レジンベレット」は漂流時間が長いほど 多量の化学物質を吸着する。この性質を 利用した海洋汚染調査に東京農工大学高 田教授らの研究チームが取り組んでいる。 一般の人に、海外旅行などの際に海岸で ベレットを拾い、送ってくれるよう呼び掛 けている。	農学府 高田 秀重 教授
2	8月12日	山陽新聞	16面 海に残る化学物質汚染 「漂流プラスチック」集め調査 東京農工大研究チーム 海鳥などへ影 響懸念	世界の海に大量に漂い回収の難しい漂 流ごみ「レジンベレット」に化学物質を吸着 する性質を利用し世界の海洋汚染を調べ ることに東京農工大学高田教授らの研究 グループが取り組んでいる。これまでの分析 結果、使用をやめた農薬などが依然、海に 残留している実態が見えてきた。また、海 外旅行などの際にベレットを拾い送って くれるよう呼び掛けている。	農学府 高田 秀重 教授
3	8月18日	大分合同新聞	9面 海に依然残る化学物質 東京農工大 漂流プラスチック汚染調査	世界の海に大量に漂い回収の難しい漂 流ごみ「レジンベレット」に化学物質を吸着 する性質を利用し世界の海洋汚染を調べ ることに東京農工大学高田教授らの研究 グループが取り組んでいる。これまでの分析 結果、使用をやめた農薬などが依然、海に 残留している実態が見えてきた。また、海 外旅行などの際にベレットを拾い送って くれるよう呼び掛けている。	農学府 高田 秀重 教授
4	8月22日	東京新聞(多摩・地 域の情報)	24面 世界最小の馬 赤ちゃん誕生 アメリカンミニホース	東京農工大学でアメリカンミニホースのメ スの赤ちゃんが誕生した。子馬の父はア ップルサイダー、母はシナモン。アップ ルサイダーは東京農工大学卒業生の 大野乾博士の愛馬だったが博士の死後、 東京農工大学に寄贈されお嫁さんとし て来日したシナモンと結ばれた。東京 農工大学で馬の出産は初めてだったた め、教員指導のもと、学生らがシミュ レーションを重ねた。	大野 乾 名誉博士 (卒業生)
5	8月22日	科学新聞	2面 日本の産学連携 活活化 旧帝大以外も伸長 文科省調査	文部科学省が行った産学連携等実施状 況調査の共同研究実績トップ30に、件数・ 収入額ともに13位で東京農工大学が 掲載。	
6	8月23日	河北新報	8面 禁止化学物質 海に残留 漂流プラスチック分析、確認 東京農工大高田教授ら	世界の海に大量に漂い回収の難しい漂 流ごみ「レジンベレット」に化学物質を吸 着する性質を利用し世界の海洋汚染を 調べることに東京農工大学高田教授ら の研究グループが取り組んでいる。これ までの分析結果、使用をやめた農薬な どが依然、海に残留している実態が見 えてきた。また、海外旅行などの際 にベレットを拾い送ってくれるよう呼 び掛けている。	農学府 高田 秀重 教授

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
7	8月25日	日刊工業新聞	29面 未来思考 経営戦略⑱ 高度人材の国際流動化進む	21世紀のモノづくりににおいて、素質ある海外の人材を招くこと、経験豊かな日本のマネージャーや実績を上げた経営者の活躍の場を、海外に向けさせることで、人材の新陳代謝をすることが国の力であると解説したコラム。	技術経営研究科 林 志行 教授
8	8月25日	宮崎日日新聞	12面 科学スコープ 海洋汚染実態を調査 使用中止農薬の残留判明 化学物質吸着 レジンベレット活用	世界の海に大量に漂い回収の難しい漂流ごみ「レジンベレット」に化学物質を吸着する性質を利用し世界の海洋汚染を調べることに東京農工大学高田教授らの研究グループが取り組んでいる。これまでの分析結果、使用をやめた農薬などが依然、海に残留している実態が見えてきた。また、海外旅行などの際にベレットを拾い送ってくれるよう呼び掛けている。	農学府 高田 秀重 教授
9	8月27日	神戸新聞(夕刊)	7面 海の汚染 依然深刻 直径2、3 ^{センチ} の漂流プラゴミ分析 使用やめた化学物質残留	世界の海に大量に漂い回収の難しい漂流ごみ「レジンベレット」に化学物質を吸着する性質を利用し世界の海洋汚染を調べることに東京農工大学高田教授らの研究グループが取り組んでいる。これまでの分析結果、使用をやめた農薬などが依然、海に残留している実態が見えてきた。また、海外旅行などの際にベレットを拾い送ってくれるよう呼び掛けている。	農学府 高田 秀重 教授
10	8月28日	産経新聞 (多摩・武蔵野版)	22面 あした人 島村ブルーベリー園経営 島村速雄さん 「発祥の地」生食にこだわり	ブルーベリーの経済栽培を日本で初めて手掛けた島村ブルーベリー園経営の島村速雄さんは、東京農工大学の教授だった故・岩垣駿夫(いわがきはやお)氏からブルーベリーの栽培を学んだ。ブルーベリーを生食として扱うことにこだわり続けた島村氏の紹介とコメントを掲載。	農学部卒 岩垣 駿夫 氏 (元教授) 島村 速雄 氏 (卒業生)
11	8月30日	山梨日日新聞	14面 漂流ごみで海洋汚染調査 使用禁止農薬も残留/生物への影響を懸念	世界の海に大量に漂い回収の難しい漂流ごみ「レジンベレット」に化学物質を吸着する性質を利用し世界の海洋汚染を調べることに東京農工大学高田教授らの研究グループが取り組んでいる。これまでの分析結果、使用をやめた農薬などが依然、海に残留している実態が見えてきた。また、海外旅行などの際にベレットを拾い送ってくれるよう呼び掛けている。	農学府 高田 秀重 教授
12	8月31日	日本テレビ	24時間テレビ31『愛は地球を救う』 誓い〜一番大切な約束〜	「夢実験の嵐!!」内の「作物の皮を大切にしておきましょう!」をテーマに行った実験に、東京農工大学平田教授が出演。	農学府 平田 豊 教授